

平成 21 年 6 月 1 日現在

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2006～2008

課題番号：18592363

研究課題名(和文) 終末期がん患者の在宅医療システムの構築

研究課題名(英文) Construction of home care system for cancer patients in terminal state

研究代表者

福井 幸子 (FUKUI YUKIKO)

大分大学・医学部・教授

研究者番号：20141749

研究成果の概要：

17年度に実施した大分県下約1300ヶ所の医療機関(病・医院、訪問看護ステーション、調剤薬局)への終末期がん患者の在宅医療の現状に関する質問紙調査の分析から、終末期がん患者の訪問診療や訪問看護の実態や関心の程度、今後の課題が明らかになった。終末期がん患者の在宅医療に関する医療機関の情報のデータベース作成に当たっては、17年度以後のがん医療や在宅医療の大きな変化を踏まえ、追加調査を行い、インターネット対応のコンテンツとアクセス解析プログラムを作成した。また、冊子媒体として、「大分県内の終末期がん患者在宅医療対応機関一覧 Vol.2」を作成した。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	1,100,000	0	1,100,000
2007年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2008年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	3,200,000	630,000	3,830,000

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学・臨床看護学

キーワード：ターミナルケア、がん看護、在宅医療、ケアシステム、医療ネットワーク

1. 研究開始当初の背景

今日の医療は、入院期間の短縮、政策的また医療を受ける側のニーズにおいても在宅医療の推進が求められている。それは、終末期がん患者の在宅医療においても同様であるが、むしろ他の疾患に比べ要望が増大している。

また、医療において患者の自律や意思決定などを推進することの重要性が叫ばれているが、終末期がん患者の在宅医療に関して、患者・家族は制度があってもそれを活用するための情報をもっていない。医療機関等も病病・病診連携といわれながら相手の医療内容・レベルがよくわからないまま患者の紹介

を行っているのが現状である。

このような状況に対して、医療者やがん患者・家族、さらには地域住民が意思決定する際の一つの指標として、また在宅ケアを推進するための具体的情報として、在宅の医療機関の実際の緩和ケア内容や、24時間体制、緊急時の医療連携等に関する情報を明らかにし、終末期がん患者の在宅医療が社会的なシステムとして推進していけるようなシステムを提案・構築していくことが望まれている。

2. 研究の目的

(1) 終末期がん患者の在宅医療における医療機関のネットワークの実態を明らかにし、課題を明らかにする。

(2) 医療者やがん患者・家族にとって利用し易い在宅医療の情報ネットワークを構築する。

(3) 終末期がん患者の在宅医療の推進に向けた社会的システムや医療者の質の確保における課題を明らかにする。

3. 研究の方法

研究目的(1)について

①17年度に行った、大分県下の在宅医療に関わる医療機関約1000ヶ所(診療所、クリニック、在宅医療を行っている入院医療機関、訪問看護ステーション、調剤薬局)に郵送による自記式質問調査のデータを整理(パソコンに入力)、結果を量的・質的に分析し課題を抽出する。

②調査結果を希望した施設へ配布する。

研究目的(2)について

①研究目的(1)の分析および文献からがん患者や家族の欲しい情報などを抽出し在宅医療情報公開に関する調査票を作成する。

②倫理審査を経て、大分県下で調査実施する。

④データの収集、分析準備する。

⑤施設情報のデータベース化を検討する。

⑥在宅医療ネットワークのデータベースを作成する。

⑦在宅医療ネットワークシステムのコンテンツを作成する。

⑧在宅医療ネットワークシステムの機器の設置場所などの検討

⑨情報を公開する施設等と公開内容の検討

⑩情報冊子を配布した施設へ、その評価のための質問紙の検討。評価の実施

研究目的(3)

①これまでのデータ(在宅医療の現状)をもとに、さらに医療者の質の確保に関する文献の抽出を行い研究者で検討を行う。

②問題の抽出

③研究目的(2)の⑩の評価から地域医療に関わる人材の質に関する問題の所在を明らかにする。

④ネットワークによる質の確保と教育プログラムによる質の確保について検討する。

⑤④の中から、今後大学と専門職者の団体が担う役割を検討する。

4. 研究成果

(1) 在宅医療における医療機関のネットワークの実態と課題

①17年度に実施した大分県下の約1300ヶ所の医療機関(診療所、在宅医療を行っている可能性がある入院医療機関、訪問看護ステーション、調剤薬局)に行った質問紙調査の分析を行い、大分県内での終末期がん患者の訪問診療や訪問看護の特徴として、①バックベッドは紹介先や患者頼り②訪問診療よりも往診や外来③自らの施設を母体とした訪問看護と連携④院内処方⑤医療機器は自施設で準備、という医療者個人の努力の範囲で行われ、複数の診療医との連携はほとんどないという結果が得られた。

②今後の推進に向けての課題には、①急性期医療機関との連携不足による見切り発車的に在宅医療が始まる②終末期がん患者に対する病・医院や訪問看護の診療体制不足③在宅医療に関わる医療者の緩和ケアに関する知識や医療者同士の連携・意思疎通不足④終末期がん患者のニーズ把握と家族への関わり不足などが挙げられていた。

(2) 終末期がん患者の在宅医療に関する医療機関の情報公開についての調査結果

①17年度に調査した約1300ヶ所の医療機関

に、終末期がん患者の在宅医療への関心に関する調査、及び、在宅医療を希望する患者・家族の問い合わせに応じる医療機関として、医療機関の基本情報や相談窓口、調査情報公開に関して調査を行い、問い合わせに応じる医療機関として350ヶ所からの回答を得た。

- ②このデータを、市町村単位の地域別に分類し、その中を病・医院、訪問看護、薬局別に分け、データベースを作成した。このデータベースは、まず、冊子「大分県内の終末期がん患者在宅医療紹介医療機関一覧」として作成し、問い合わせに応じると解答した医療機関、急性期医療機関、県・保健所、市町村窓口、希望する一般市民に配布した。

(3)在宅医療ネットワークのデータベース作成のための追加調査の実施

平成19年4月から9月までの期間、17年度の調査データに基づくデータベースを作成していたが、研究内容・方法について再検討を行った結果、平成17年度以降のがん医療や在宅医療の変化に伴い、データベースには追加情報の調査が必要と考え、調査項目の検討・調査票の作成を行い、平成20年6月に追加調査を実施した。995医療機関（診療所、在宅医療を行っている可能性がある入院医療機関、訪問看護ステーション）に調査票を配布し、265医療機関からの回答が得られた。

(4)情報システム機器の変更と在宅医療ネットワークのデータベース化とコンテンツの作成

- ①当初、情報公開する機器としてタッチパネル式の機器をかんがえていたが、その後の大学の情報提供システムの運用が開始された状況を踏まえ、インターネット対応のコンテンツ作成が有効であることが明確になり、インターネットに切り替えた。
- ②平成19年4月から9月までの期間、17年度の調査データに基づくデータベースを作成していたが、平成20年6月に追加調査した内容に基づいて在宅医療ネットワークのデータベースを作成した。

じまえ管理ページ

<http://122.249.210.94/shisetu/admin/>

- ③このような状況からインターネットに対応したHP用コンテンツ作成が妥当と考え、平成19年10月から17年度の調査内容で地図情報を含めて作成していたタッチパネル用コンテンツを、平成20年6月の追加調査の内容を踏まえインターネット対応コンテンツとして作成し、じまえ健康支援システムを平成21年2月に構築した。平成21年6月よりネットワーク配信を行う予定である。これと並行して、インターネットに対応したHP用コンテンツを基に、冊子媒体として、「大分県内の終末期がん患者在宅医療対応機関一覧 vol.2」を作成し、大分県内の主要医療機関と冊子に掲載している医療機関に配布した。

じまえ健康支援システム
<http://122.249.210.94/shisetu/hazime.php>

- (5)研究目的(3)については、研究期間中に実施できなかったため、現在も継続的研究課題として検討中。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[その他]

- (1)じまえ健康支援システム

<http://122.249.210.94/shisetu/hazime.php>

(トップページ)



(がん対応施設の特徴から探す)1



(がん対応施設の特徴から探す)2



(がん対応施設の特徴から探す)3



(がん対応施設の特徴から探す)4

・各医療機関詳細情報①

診療時間	9:00~12:30 14:00~18:00 (土曜日は午前のみ)
休診日	日曜、祝祭日
診療科目	内科・リハビリテーション科・アレルギー科
診療体制	<ul style="list-style-type: none"> ★ 末期がん患者の診療形態 ★ 末期であっても訪問診療に対応する ★ 対応可能な地域 ★ 車で30分以内の程度 ★ 急変・緊急時の24時間対応 ★ 訪問まで対応する ★ 患者の状況に応じて対応する ★ 土曜、日曜、祝日の対応 ★ 訪問まで対応する ★ 患者の状況に応じて対応する

・各医療機関詳細情報② (①の続き)

終末期がん患者の訪問診療の連携体制	<ul style="list-style-type: none"> ★ 訪問診療医の単独 ★ 紹介医療機関など複数の診療医と連携 ★ 在宅療養支援診療所の届出 有
これまで連携した医療機関名	<ul style="list-style-type: none"> 大分赤十字病院 大分県立病院 大分市医師会立アルメイダ病院 大分大学医学部附属病院
訪問看護ステーションとの連携体制	有
これまで連携した訪問看護ステーション名	訪問看護ステーションおいた 赤十字訪問看護ステーション
在宅医療中の急変・緊急時の受け入れ施設(バックベッド)	<ul style="list-style-type: none"> ★ 自施設に紹介してくれた医療機関へ入院 ★ 患者の希望する医療機関へ入院

医療内容	<ul style="list-style-type: none"> ★ 対応できる ★ 対応できる ★ 患者の状況による ★ 患者の状況による ★ 患者の状況による ★ 患者の状況による ★ 対応できる
------	---

(地図から探す、地域別から探す)1

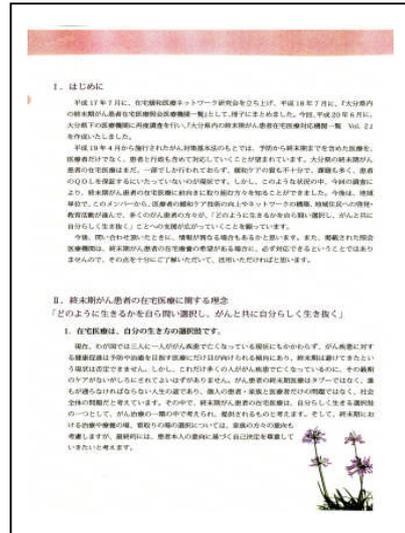


(地図から探す、地域別から探す)2

・がん対応施設表示



(在宅医療に関する説明)

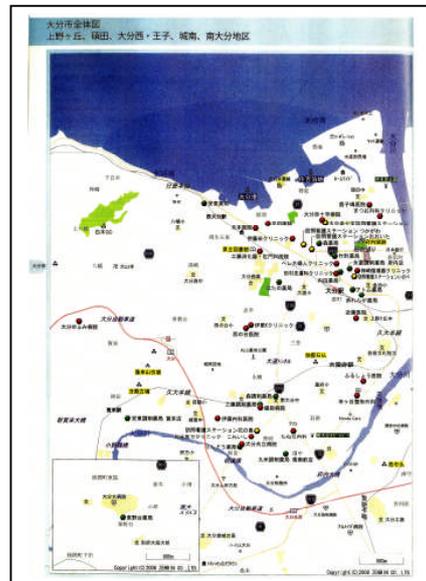


(2) 「大分県内の終末期がん患者在宅医療対応機関一覧 vol. 2」

(表紙)



(地区の全体図の例)



©2009ZENRIN CO.,LTD. Z09FG 第021号

(目次)

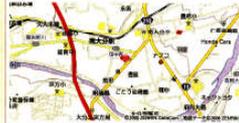


(病・医院の例)



©2009ZENRIN CO.,LTD. Z09FG 第021号

(訪問看護の例)

大分市 大分市地区 訪問看護	
訪問看護ステーション花の里 管理者 久保田由子 ■訪問時間 月～土 8:30～17:30 ■休診日 日曜日 居宅介護支援の業務 ●実施していない ■訪問前日入居者の在宅状態に関する相談窓口	訪問看護体制 対応可能な領域 ● 療養 30分以上、40～55分以内の療養 急変・緊急時の24時間対応 ● 訪問まで対応する 二重、三重、軽微の対応 ● 訪問まで対応する その他
〒870-0867 大分市二又町1-4 多組栄軒ビル1F (TEL) 097-546-2239 (FAX) 097-546-2527 (E-mail) (HP)	設備体制 ● 施設・設備の確保体制 (これまでに連携した医療機関名) ○ びばきホームケアクリニック その他
	医療内容 ● 地域医療の必要化が、事業の目的である ● 対応できる ● 患者や地域に必要となる業務の提供 ● 対応できる ● 中心診療の下で予診や導入した医師の業務の提供 ● 対応できる ● 予診業務に必要となる予診業務として医師の業務の提供 ● 患者の状況による ● 訪問前予診が必要となる予診業務の提供 ● 患者の状況による ● 対応できる その他

©2009ZENRIN CO., LTD. Z09FG 第 021 号

(薬局の例)

大分市 大分市地区 薬局	
社団法人 大分市薬剤師会 会舎 東野台薬局 管理 長 関野紀洋 (社) 大分市薬剤師会 会長 宛書数也 ■営業時間 9:00～18:30 ■休診日 土・日曜日、祝祭日 〒870-0867 大分市東野台 2丁目1番地 (TEL) 097-549-4106 (FAX) 097-549-4889 (E-mail) oshinomoto@shoetsu.or.jp (HP)	在宅医療 訪問診療 (調剤科・ケアマネージャー)
	設備体制 訪問薬局等の業務 実施していない 調剤業務の提供 実施している HP 訪問の提供 実施していない 患者の健康 (ケースマネージメント) の提供 実施していない

©2009ZENRIN CO., LTD. Z09FG 第 021 号

・ じまえ管理ページ

<http://122.249.210.94/shisetu/admin/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

福井 幸子 (FUKUI YUKIKO)
大分大学・医学部・教授
20141749

(2) 研究分担者

平成 18 年度～19 年度は研究分担者

平成 20 年度は研修協力者

井上 亮 (INOUE RYOU)
大分大学・医学部・教授
10325714

脇 幸子 (WAKI SACHIKO)
大分大学・医学部・講師
10274747

寺町 芳子 (TERAMACHI YOSHIKO)
大分大学・医学部・講師
70315323

菅原 真由美 (SUGAHARA MAYUMI)

大分大学・医学部・助教

90381045

徳永 亜希子 (TOKUNAGA AKIKO)

大分大学・医学部・助教

50441952